

埼玉工業大学 研究データポリシー

（目的）

埼玉工業大学（以下、「本学という」。）は、仏教精神を基盤とする建学の精神、「テクノロジーとヒューマニティの融合と調和」という理念のもと、エンジニアや実務家など、社会の中核となって社会に貢献できる人材を養成している。本学では、研究活動によって得られた成果を蓄積すること、オープンサイエンス、オープンイノベーションを通じて、新たに生み出される技術や知見を社会に実装していく過程で生み出される研究データの管理・公開・利活用についての基本方針として、研究データポリシー（以下、「本ポリシー」という。）を定める。

（研究データの定義）

本ポリシーが対象とする「研究データ」は、本学における研究活動の過程で研究者によって収集され、また生成されたデータ（デジタル・非デジタルを問わない）をいう。

（研究データの管理等）

研究データを収集または生成した研究者が、その研究データの管理を行う権利と責務を有する。研究者は、研究データの価値を守るため、研究分野の特性等を踏まえ、法令および倫理的要件に基づき研究データを適切に管理する。

（研究データの公開）

研究者は、研究データの価値を向上させるため、研究データを可能な限り社会に公開し、その利活用に供するものとする。

（大学の責務）

本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を行う。

（その他）

本ポリシーは社会や学術状況の変化に応じて、適宜見直しを行う。

本ポリシーは、令和7年4月1日から施行する。